

会 議 録

会 議 名	第 2 1 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 2 1 回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成 2 4 年 6 月 5 日 (火) 午前 1 0 時から正午		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	阿部委員、遠藤委員、末包委員、福井委員		
欠 席 委 員	菅沼委員、野口委員、		
事 務 局 員	渡辺社会教育主事、和田主任、渡辺主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 三者合同懇談会について 2 公民館運営審議会について 3 企画実行委員の改選について 4 主催事業について <ul style="list-style-type: none"> ○シルバー大学について ○成人大学講座について ○子ども体験講座について ○市民講座準備会について ○市民がつくる自主講座について ○地域センター施設研究講座準備会日程について ○子どもの人権講座について 		

司会 末包企画実行委員

それでは、三者合同懇談会の報告からお願いします。

1 公民館運営審議会について

渡辺（陽）： 5月24日の木曜日に三者合同懇談会が午前9時から第二庁舎の801会議室で行われました。三者というのは、公民館運営審議会委員、社会教育委員、図書館協議会委員です。今回は、前半に講演会を設定し、社会教育委員に東京学芸大学の社会教育、公民館を専門に研究しておられる倉持先生に講演をいただきました。

テーマは、「小金井市のネットワークづくりに向けて」ということで生涯学習の最近の動向についてのお話をいただきました。ネットワークと言うと、情報のネットワークのことが頭に浮かびます。あわせて、人と人とのネットワークが重要であるという社会教育委員からの提案がありました。それを受けて講演では、何故今、ネットワークが求められているのか、その背景説明となるお話がありました。特に、3.11の震災後、地域のつながりの重要性に光が当たっていることが指摘されました。短時間のお話でしたが、「小金井市のネットワークづくり」を討議する前提としての共通理解ができたと好評でした。次にグループ討議となりました。最後に、青少年のための科学の祭典の話になり、昨年のテーマの「いつでも学習・どこでも科学」を今年度も引き続きテーマでやりましょうということになりました。

福井委員：科学の祭典までの日程は、発表されているのですか。

渡辺（陽）：はい、前回4月の公運審で、すでに9月9日本番までの日程の報告がありました。（申込締切が5月10日。出展内容締切が6月30日、前日の準備が9月8日です。）

2 公民館運営審議会について

渡辺（陽）：5月25日の金曜日に行われました。まず報告です。報告事項は、東京都公民館連絡協議会の委員部会と研修会についてと定期総会の報告、月刊こうみんかんの市のホームページ掲載、事業の計画・報告をしました。

協議事項では、東京都公民館連絡協議会の関東ブロックの研究大会がありますのでその参加者について話しました。佐々木委員長と藤井副委員長が参加いたします。

審議事項としては、科学の祭典のことをメインに話し合いが行われました。大きな方向性が二つ出まして、まずひとつは、青少年

のために行うのだから子どもが面白いような科学実験をやろうというのがひとつの提案で、二つ目が、公民館がやるのだから過去に実施した子どもの講座、科学の講座を報告するのがあるのではないかという提案がありました。討議の結果、糸電話などを軸として、「むかし遊びの科学」というテーマで実験を考えましょうということになりました。

福井委員：これは職員が作っていくのですか。

渡辺（陽）：参加主催者が公運審なので公運審委員が中心で行います。もちろん、お手伝いできることがあれば、協力します。

末包委員：関東ブロックの研究大会は場所はどこで行われるんですか。

渡辺（陽）：全体会と分科会とがあります。全体会は長野県松本文化会館で期日が9月27日（木）と28日（金）です。

15の分科会があり、都公連は「環境とエネルギーの学習」という項目を受け持ってやることになりました。

3 企画実行委員の改選について

渡辺（陽）：市報5月15日号で募集いたしまして、本日（6月5日）午後2時から新たに企画実行委員に応募された方に説明会を行います。

司会：次に主催事業に移ります。

4 主催事業について

○シルバー大学について

和田：来週13日（水）から始まりますが、おおむね講師が決まって来ました。定員70名の募集ですが、昨日時点での応募がリピーターの方が24名、新人の方が11名で合計35名の応募という状態です。その理由として昨年度は、震災の影響で講座をずらしたのでまだ市報（6月1日号）を見ていない方もいらしゃると思いますし、1日が金曜日だったので土日で応募はがきを投函すると本日（5日）着くのではないかと思います。例年になく少ないというのが現状です。一部の応募はがきや電話でも何件か批判が届いておりまして、高齢者学級が他館との高齢者学級との併級できないのであれば、内容をもう少し考え直した方が良いのではないかと。一方的に講義を聞くのではなく参加型の高齢者学級にしてほしいという意見がかなりありました。

遠藤委員：批判はどのくらいあったのですか。

和田：はがきでは3通で、電話では中町・本町地域在住の方で、高齢者学級で余暇活動をしたいのならば他館に行けって言うことなのか。同じ高齢者学級で考えるのであれば内容を考えるべきという意見もありました。

末包委員：各館が同じ内容のことをやっていたら選択する幅はない訳ですよ。

和田：多くの意見は講義を聞く、余暇を楽しむ講座の両方あっても良いのではないかという意見で、地域性を考えるとシルバー大学でももう少し内容を考えた方が良かったのかなという発想にはなります。

○成人大学講座について

渡辺（陽）：5月30日に菅沼委員、福井委員と担当渡辺とで、久邇先生との打ち合わせをもちました。また、参加者によるパネルディスカッションは、出来ないか検討しました。結論として、これは止めました。テーマである、EU危機にしろ、背景としてのヨーロッパ世界への理解にしても、歴史や政治についての深い共通理解がもとめられる問題です。公民館講座ですので、まずしっかり学びましょうということになりました。参加者には、2回目の講座の際に質問項目を出して頂き、最終回にお答えいただくこととしました。

遠藤委員：統一テーマですが、もう少し検討してみたいはかがでしようか。

末包委員：メインテーマを変えて、EUの設立という言葉は、副題に入れるとスッキリします。

渡辺（陽）：でしたら、例えば、メインテーマを、「危機に直面するEUから何を学ぶか」とか「EU危機から何を学ぶか」にして、サブタイトルに、「～EUの設立・現状・今後～」とするのはどうでしょうか。

和田：いずれにしても、これらを講師に案として提案して決めましょう。

○子ども体験講座について

渡辺（も）：今年度も例年お願いしています講師と調整し、6月30日（土）から12月1日（土）までの4回講座になりました。初回は6月30日は野川の生き物観察会で市報6月15日号で募集し、各小学校にチラシ配布をお願いしているところです。

担当企画実行委員の阿部委員さん、よろしくお願いいたします。

○市民講座準備会について

渡辺（も）：今年度の実施時期ですが平成25年1月から3月を予定しています。昨年度は予算枠が5回でしたが、今年度は4回となりました。実施にあたって準備会を9月から始めたいのですが、一般施設予約受付が6月20日から始まってしまいますので、9月27日（木）学習室Aを仮予約しています。

末包委員：この日が第1回目の準備会になるのですね。

渡辺（も）：はい、そうです。では、ここで決定させていただき9月27日（木）午後1時30分から学習室Aで行いますので、よろしくお願いいたします。

準備会委員募集の市報掲載は9月15日号になります。

○市民がつくる自主講座について

和田：16日（土）まで募集をかけていますが、現在、申請をしている団体は2団体です。問合せが来ていますので、まだ増えると思われま。

末包委員：早く申請すれば有利ということはあるのですか。

和田：ありません。去年実施した団体は遠慮していただくのが大前提です。

福井委員：昨年は20団体の申請があつて13団体に絞り込んだの実施だったのですか。

和田：13団体で27講座の申請がありましたが、それを調整し20講座にしました。

福井委員：例えば今年20講座以上の申請があつた場合の四者選択はどのようにしているのか。

和田：団体と枠数を調整し、館長も含め職員で決めています。今まで実施したことのない申請を優先しています。

○地域センター施設研究講座準備会日程について

渡辺（陽）：3年度にわたる地域センター施設研究講座の最終年にあたります。7月1日付市報で募集します。講座と重ならない日程で、準備会を設定いたしたいと思ひます。

○子どもの人権講座について

6月7日からいよいよ、7回講座がはじまります。今回は、とても反響が大きく、88名の応募がありました。保育希望に対

応出来ない状況です。講座予算の増額要望が寄せられていますので今後の検討課題だと思えます。

阿部委員：講座の時間を決める日に、欠席してしまったのですが、午後と午前ではどちらが参加し易いのでしょうか。例えば、幼稚園の親の場合、午前中の講座の方がいいという方も多いでしょうね。

渡辺（陽）：私もそう思えます。ただ、逆のことをおっしゃる方もいます。結論としては、木曜日の午前、午後、日曜日といくつかのパターンで実施することになりました。

以上